

平成26年度 第3回公社等経営評価委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成27年3月17日（火）10:00～11:30
- 2 場 所 兵庫県庁2号館2階参与員室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 佐竹委員長、中尾委員、中西委員、茂木立委員、吉田委員
 - (2) 兵庫県 企画県民部長、企画財政局長、財政課長、資金財産室長、新行政課長

4 議事要旨

(1) 兵庫県道路公社ヒアリング

公社及び県関係課から、播但連絡道路の平成27年度からの新料金の内容、有料道路の利用促進及び経費縮減の取組み状況等について説明後、委員との質疑応答を実施。委員からの主な意見は次のとおり。※「→」は公社及び県関係課による回答を指す

① 社会実験の料金割引効果の検証について

- 社会実験の料金割引効果の検証について、竹田城が全国的に有名になったことによる観光客の増加など、割引以外の要因で交通量の増加につながっているのはいか。
- 交通量の増加要因としては、割引以外の要因も一定程度考えられるが、今回割引を実施する時間帯において、割引対象外の時間帯と比較すると、交通量が増加しており、割引の効果があったものと考えている。

② ETCの整備について

- ETCの整備の理由及びその効果について伺いたい。
- 播但道におけるETC利用車が増加していること、また、山陽道との一体運用時(H13)に整備した料金所サーバーが更新時期を迎えていること、そして料金割引をETC車に限定すること等から、2か年かけて8料金所19レーンにETCを整備する。割引をETC車に限定することで、H25年度の交通量で試算すると、約9,000万円/年の増収と見込まれる。また、ETC利用車の増加により料金收受業務も漸次軽減されると考えている。

③ 経費縮減について

- 管理事務所の一元化による人員削減等コスト縮減を図っているが、維持管理業務が手薄になり、重大な事故につながらないように注意すべきである。
- 遠阪トンネル管理事務所を廃止し、播但道管理事務所と統合することにより、指揮者を2名減員したが、現場対応の人員は変更しておらず、維持管理業務に影響はない。

④ 有人ブース開放時間の見直しについて

- 有人ブースの開放時間の見直しにあたっては、通行に支障のないよう検討がなされているのか伺いたい。
- ETCの利用状況や混雑する曜日、時間帯等を十分に考慮した上で開放時間を見直している。

⑤ 播但連絡道路の利用促進に向けた取り組みについて

- 播但連絡道路の利用促進に向け、地域と連携した取り組みを推進すべきではないか。
- これまでから、播但連絡道路利用促進協議会を設置し、但馬県民局や中播磨県民センター、沿線市町等の参画を得て、利用促進等に取り組んでいる。H27年度からは新たな利用促進策に取組み、『宿泊車優待通行パス』や『一日乗り放題観光パス』などを実施し、交通量の増加と交流促進につなげていく。

⑥ 新料金のPRについて

- 新料金のPRにあたっては、新料金の金額だけでなく、社会実験前の料金と比較して示した方が効果的である。

(2) 平成27年度実施計画に係る公社等の取組みについて

平成27年度実施計画に係る公社等の取組みについて、事務局から説明（委員からは特に意見なし）

(3) 平成27年度公社等経営評価委員会の進め方について

平成27年度の公社等経営評価委員会の進め方について、事務局から説明。説明の概要は次のとおり。（委員からは特に意見なし）

【具体的な取組内容】

- ① 第3次行革プランに基づく取組みのフォローアップとして個別団体のヒアリングを実施
- ② 経営状況全般について点検・評価を実施

【スケジュール】 ※決算状況等を踏まえ必要があれば別途個別ヒアリングを実施

- ① 個別ヒアリング（2回（各2団体））を実施（6月末から7月）
- ② 決算状況の点検・評価、公社等経営評価委員会報告（素案）を協議（8月）。
- ③ 個別ヒアリング（2回（各2団体））を実施（10月から11月）
- ④ 平成28年度実施計画、平成28年度の委員会の進め方（3月）